

地域公共交通計画の策定と協議会の進め方について

- 今回提示する計画（素案）について、本協議会で議論した後、市議会への報告を経て市民等に広く意見を募るパブリック・コメントを実施。パブリック・コメントの結果等を踏まえ、2021（令和3）年度中に計画を策定し、計画を実行する（計画期間：2021～2030年）。
- 協議会は、計画策定後も年1～2回程度開催し、専門部会と連携しながら、進捗管理指標に基づく計画の評価・分析（PDCA サイクル）を行う予定とする。

- ✓ 計画に基づく実施状況の把握・評価（進捗管理指標の確認等）
- ✓ 事業の評価に基づく施策の継続・改善等の検討（次年度事業実施方針）
- ✓ 中間時点での計画の見直し、事業・目標等の再設定
- ✓ 計画目標年次における成果指標による確認・評価

- 理想的な PDCA サイクルについては、計画期間全体の長期スパン及び年間単位の短期スパンによる進捗管理や事業の評価、各施策の実施計画の策定、次年度事業への反映などを実施していくことが考えられる。また、市の予算要求や国の補助申請など行政的作業のスケジュールとの連携も必要である。

◆ 出展：令和3年度第3回仙台市交通政策推進協議会 資料 1-1 地域公共交通計画(素案)

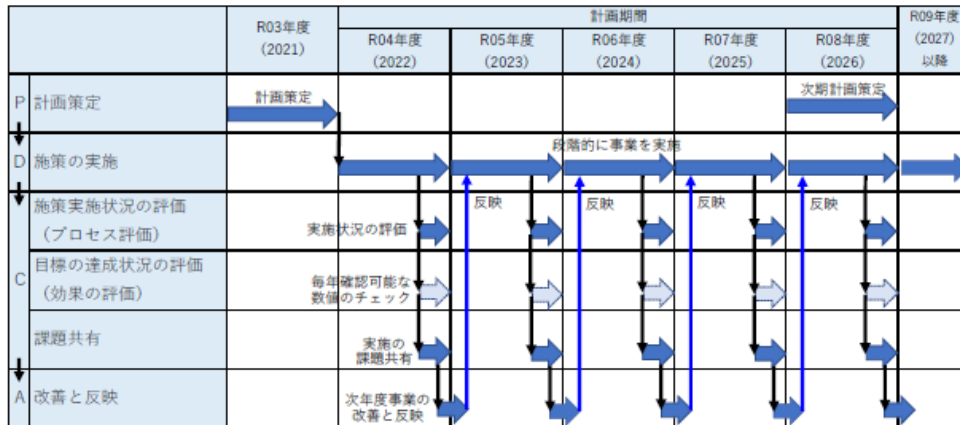


図 6-2 計画期間の進捗管理（PDCA サイクル）

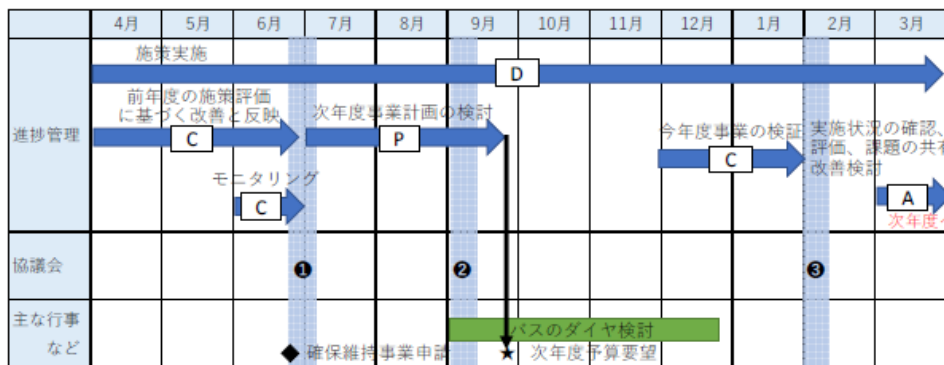


図 6-3 年間単位の進捗管理